



鴻巣市立下忍小学校

令和7年1月8日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

TEL 548-2300

人と人との良い関係 ～「礼節」から考える～

校長 野本 昌宏

新年あけましておめでとうございます。

みなさまには、希望に満ちた令和7年の新春をお迎えのことと存じます。旧年中の保護者、地域の皆様の本校へのご理解、ご協力、そしてご支援に対しまして心より感謝申し上げます。



年末年始は、あらたまった場面の多い時でもあります。人と接する時の礼儀や常識というものを考える機会でもありました。

そのような中、ある新聞の念頭の社説の一節に「自由は礼節とともに」という一文がありました。社説では日本と他国との関係を念頭に論じていました。その中の一節に「自由は、他者との関係で成り立つ『社会的自由』である。他者の自由の尊重、つまり節度や責任と一体の関係にあるのだ」（読売新聞 2025年1月1日）というものがありません。「礼節」という言葉は日常の生活の中で聞くことはあまりないかと思

います。「礼節」とは、「礼儀と節度」とのこと。「礼儀」とは、「人間関係や社会生活の秩序を維持するために人が守るべき行動様式。特に敬意を表す作法」、「節度」は「行き過ぎのない適度な程度、程合い」とのことです。

つまり、「礼節」とは、「その場に応じた常識的な行動」や「人と接するときに守るべきだとする決まり」ということになります。

ただ、難しいのは「常識的」というものがその人その人によって、多少異なっているとあります。時に、「常識的」なものの違いが人と人との摩擦を生むこともあります。それは、大人どうし、子どもどうしに限ったことではありません。

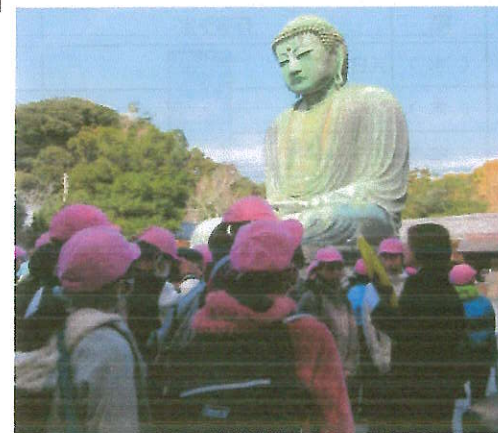
それでは、どうすればよいのでしょうか？

私は、相手のことを思いやること、そして、時には自分の「常識」を疑ってみることが大切なのだと思います。自分の「常識」は、相手の「常識」ではなかったり、相手がそもそも「常識」というものを知る機会がなかったのかもしれない。また、世代間ギャップといわれるように、時代と共に「常識」も変化していくものでもあります。「礼節」の基本は、「自分がされてうれしいことを他の人と接する時とする。自分がされて嫌なことは、他の人にはしない」ということなのではないでしょうか。

皆様にとっての令和7年が、人と人との良い関係となり、充実した1年でありますように願ってやみません。

修学旅行 12月5日(木)・6日(金)

6年生の児童が修学旅行で鎌倉・箱根・小田原に行ってきました。1日目は高徳院（鎌倉の大仏）をスタート、鶴岡八幡宮をゴールとし、班別行動を実施しました。どの班も事前の調べ学習を生かし、しっかりと班行動を行うことができました。また、小町通りでの買い物では、予算を考えながら鎌倉ならではの土産を楽しそうに買う姿がたくさん見られました。2日目は箱根の遊覧船に乗り、小田原城を見学してきました。



第2回家庭教育学級 12月6日(金)

給食試食会と合わせて第2回家庭教育学級を実施しました。本校の川口栄養教諭が講師として、「成長期に必要な栄養～給食を通じて～」の講話を行い、実際に「親子でできる簡単な料理」として「エッグウィンドトースト」を参加者と一緒に作り、給食とともに試食しました。当日は多くの保護者の方々にご参加いただき、ありがとうございました。



なかよし交流会 12月11日(水)

スマイル学級の児童が「なかよし交流会」に参加しました。吹上地区の特別支援学級の交流を目的として、ゲーム等、様々な活動を通して交流を深めました。交流の1つとして当日は素晴らしい演奏を披露しました。



お知らせ

- ※12月23日の手紙にてお知らせしておりますが、2月8日（土）は公開授業として2・3校時を公開とし3時間で下校（11時45分頃）となります。なお、10日（月）は振替のため、学校は休みとなります。詳細は裏面をご覧ください。
- ※ホームページの「校長室より」「下忍スナップ」にも学校の活動様子や詳細を掲載していますので是非ご覧ください。
- ※＜地震災害時の確認＞鴻巣市では、お子さんが学校にいる時、震度5弱以上の地震が発生した場合は、お子さんを学校に留置き、既に提出されている引渡しカードに基づき保護者等へ引渡しとなっております。災害時は混乱等が予想されるため徒歩での引取りにご協力をお願いいたします。